

大阪府立茨木高等学校は、令和4年度より  
「教育課程特例校」に指定されました。

本校では、これまで「高い志」「枠を超える知性」「自主自律の精神」という三つの教育目標のもと、すべての教育活動を有機的に結びつけ、リーダーシップを醸成し生徒の成長につなげてきました。さらに、GLHS（グローバルリーダーズハイスクール）として活動の場を広げ展開する中で、新教育課程実施にあたり、こうした本校の特色を維持・発展させていくための核となるものとして、令和4年度入学生から、教科「探究」を設定し、「IBARAMA I」～「IBARAMA IV」において、情報の取扱いや活用、協働、探究活動と課題解決、プレゼンテーションについて学びます。

## 「探究」

1年次：探究活動を通じて、課題発見・解決に必要な知識・技能を複合的に身につける。

「IBARAMA I」…地域社会の諸課題や地球科学を題材に、文献調査や数学的な手法、科学的な手法を用いて探究活動を行う。

2年次：探究活動を通じて、多角的、複合的に事象をとらえ、課題を設定し、観察、実験、調査等を実施し、それらをもとに事象を分析し、さらにその成果を互いに発表し合い、意見の交換や議論を行う。また、「情報社会の問題解決」「コミュニケーションと情報デザイン」等の「情報I」の内容について、探究活動と一体的に学習することで、より実践的な情報収集能力・表現力を身につける。

「IBARAMA II」…数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を組み合わせるなどし、自然科学・社会科学・人文科学等、さまざまな分野から探究活動を行う。

「IBARAMA III」…情報セキュリティや著作権、情報デザインやプレゼンテーションと相互評価の手法を学ぶ。

3年次：「コンピュータとプログラミング」「情報通信ネットワークとデータの活用」等の「情報I」の内容を、3年次の「数学」の授業におけるn進法や統計的な推測の学習と並行し、一体的に十分な時間をかけて学習することにより、情報活用能力の定着を図る。

「IBARAMA IV」…デジタル表現やデータの分析を学ぶ。